



ているる図書情報室 2階



6月の新着図書

書名	著者	テーマ
本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」	前泊博盛	郷土
福木巨木の巡礼誌	仲間勇栄 文 来間玄次 写真	郷土
心理学でわかる ひとの性格・感情辞典	渋谷昌三 監修	心理学
SNSカウンセリング・ケースブック 事例で学ぶ支援の方法	杉原保史 監修 他	心理学
SNSカウンセリング・ハンドブック	杉原保史 他	心理学
モヤる言葉、ヤバイ人 自尊心を削る 人から心を守る「言葉の護身術」	アルテイシア	心理学
ドイツ人はなぜ 「自己肯定感」が高いのか	キューリング恵 美子	自己啓発
カミングアウト	砂川秀樹	ア性 ジェンダー
正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ	西村宏堂	ア性 ジェンダー
ひれふせ、女たち ミソジニーの論理	ケイト マン 著 小川 芳範 訳	哲学 女性問題
性差(ジェンダー)の日本史	国立歴史民俗 博物館 監修	ジェンダー 日本史

書名	著者	テーマ
遺伝子の不思議としくみ入門	島田祥輔	遺伝子 社会学
貧困パンデミック 寝ている『公助』を叩き起こす	稲葉剛	社会学 貧困
交通事故事件対応のための 保険の基本と実務	大塚英明 古 笹恵子 編著	法律
図解加害者・被害者のための交 通事故完全対応マニュアル	鈴木清明	法律
わたしはオオカミ	アビー ワン バック 著 寺 尾まち子 訳	人生訓 アート
三千円の使いかた	原田ひ香	文学



ご予約は
スタッフまで！

貸出中の本は予約することができます。
お気軽にお問合せください！

ているるHPから蔵書検索の画面へ飛ぶことができます。
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>



児童労働に 反対する世界デー



わたしは
女の子だから

Rosemary McCarney
(原著)
367.2 /マ/YA

借金の肩代わりに労働を強いられたり、紛争に巻き込まれたり…。ジェンダーの平等、児童労働や性的虐待、貧困など世界中の女の子が抱える問題について知り、考えてみるのにも最適な1冊です。



わたし8歳、
カカオ畑で
働きつづけて。

岩附 由香(著)
369.4 /イ

「低い賃金で働く子どもたちを使って農水産物を作ることで、生産物の原価が低く抑えられているのだとしたら、そうした生産物を食べる人たちは子どもたちの命と人生を食べているのだ」という本書のコメントは衝撃的です。



チェンジの扉

認定NPO法人ACE (著)
369.4 /チ

児童労働の撤廃を目指し、ガーナやインドで活動する認定NPO法人・ACE。子どもたち自身、そして彼らに向き合ってきたACEスタッフが体験した変化のストーリーを通し、多様性の社会を「私たちはどう生きるか」考える1冊。



世界商品と
子供の奴隷

下山 晃(著)
369.4 /シ

「南部化するアメリカ」と「アメリカ化する世界」。誰もが知っているナイキやネスレやマクドナルド…。営利至上の世界企業が支配するグローバル経済の最底辺から、「最悪の形態の労働」にあえぐ子供たちの実像が浮かび上がる。コーヒーやサッカーボールや携帯電話など、身近にあふれる商品に埋め込まれた驚くべき実態を一望する警世の書。

男女共同 参画週間特集



「変わってしまった女」と「変わりたくない男」

三浦 清一郎(著)
367.12 /ミ

女性はずでにさまざまな生活領域で、考え方も、生き方も変えてしまった。しかし多くの男性は、考え方も、生き方も優位な状況を変えたくない。男女の「対立点」「問題点」「衝突の現場」を社会教育的観点から論じる。男女共同参画を学ぶ良本として、とても人気の一冊です。



「男女格差後進国」
の衝撃

治部れんげ (著)
367.21 /ジ

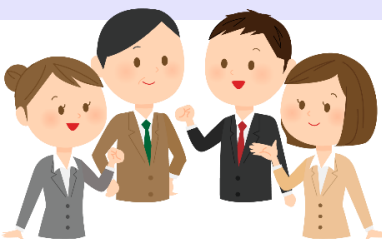
政府が女性活躍政策を推進しても、諸外国の改善と比較する相対評価では、まったく追いついていけない。長年ジェンダー問題について取材・執筆・実践に取り組んできた著者は「多くの人が、『日本は男女格差が大きい』と実感せずに暮らしていることが、日本が変わっていかない一番大きな原因」と指摘する。本書では、諸外国の取り組みを紹介しつつ「日本で男女格差が縮まらない理由」を考察、国内の成功例を挙げながら、次世代のためにできることを提案する一冊です。



ボーイズ 男の子は
なぜ「男らしく」
育つか

レイチェル ギーザ(著)
367.5 /ギ/男性

ジェンダー間の平等化を進めると、誰もがもっと自由になれる!男子限定の性教育授業や少年スポーツリーグへの取材。トランスジェンダーの子どもをもつ親たちとの対話。ビデオゲームをしながら息子と語る男らしさの幻想について。ジャーナリスト且つ等身大の母親が、現代のリアルな「男の子」に切り込む、明晰で爽快なノンフィクション。各メディアにも取り上げられた、人気の一冊です。



父の日に読む 父、大活躍絵本



おふろだ、おふろだ!

渡辺 茂男(作)
えほんコーナー

クマの子どもが、ある日泥んこになってお家へ帰ってきた!パパと一緒に楽しいお風呂だ!可愛らしいクマのイラストとほんわかしたストーリーが可愛いえほんです。



うちのパパが世界で
いちばん!

ハリエット・ジー
フェルト(作)
えほんコーナー

“パパ”は世界にひとつしかないため、おとりかえできません。りょうりのじょうずなパパ、こうさくがとくいなパパ、はしることなら、だれにもまけないパパ。いろいろなパパがいるけれど、やっぱりうちのパパが世界でいちばん。まさに父が大活躍する絵本です。



かいじゅうたちの
いるところ

モーリス・センダック
(作)
えほんコーナー

かいじゅうの国をたずねよう。コルデコット賞を受賞し、世界中の子どもたちをひきつけてやまないセンダックの代表作。子どもの内面のドラマをみごとに描いて、今世紀最高の絵本といわれています。お父さんお母さんも、子どもの頃に読んだことがあるのではないのでしょうか?親子で読むのにオススメです!



おとうさん

つちだ よしはる(作)
えほんコーナー

わたしは、おとうさんの自転車に乗って、おとうさんとでかけるのが大好きです!お気に入りのハンカチを持って、今日もでかけます。ところが、ある日、大切なハンカチを落としてしまつて…。父と娘の絆を描く感動えほん。家族の大切さを教えてくれるとてもオススメの一冊です。